

支えあいのまちづくり協議体（日本橋地域）実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体（第2層協議体）」の令和6年度第3回目を、日本橋地域(はまる一む)で開催しました。

1. 実施日

令和6年12月3日(火)16:30~18:00

2. 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター 計9名

3. 内容

- ・第2層協議体交流会 報告
- ・「歩いてつながる 浜町エリアマップ」配布先・感想共有
- ・マップを活用したイベントについて 意見交換

4. 第2層協議体交流会 報告

11/21に開催された第2層協議体交流会について報告。

京橋・月島地域のメンバーから「歩いてつながる 浜町エリアマップ」の取組みについて、質問や好評の声が多くあった。時間をかけてようやくマップ完成という形にすることができ、協議体として前進してきたことを改めて実感することができた。

5. 「歩いてつながる 浜町エリアマップ」配布先・感想共有

各メンバーのマップ配布先及びそこで得られた感想などを共有。

●配布先

薬局、郵便局、おとしよりセンター、クリニック、ふれあい福祉委員会、通いの場、ラジオ体操など
⇒協議体メンバーが持つ繋がりを活かして、完成版マップを地域住民に届けることができた。

●地域からの感想・意見

▽浜町周辺の住民から、表面と裏面の内容が繋がっていて、見やすく分かりやすい。

▽東日本橋の郵便局では、主に浜町周辺に住んでいる方々にマップを渡してくれた。

浜町から少し離れた地域でも、手に取って見てくれる方がおり、出掛けるきっかけになっていた。

▽小伝馬町在住で足を悪くされている方が、ベンチの位置が分かることで安心して他地域にも外出してみようと思えたと言われた。

▽他地域に暮らしている方からは、自分たちが住む地域にも作ってほしいという声もあった。

▽写真が載っていて、雰囲気分かるため、自分も参加してみたいと思った。

▽薬局やクリニックに置いておくことで、転居したばかりで地域に何があるか分からないといった人に手に取ってもらえる。越して来たばかりという人にとっては外出を促すきっかけになる。

▽ふれあい福祉委員会の活動でも今後、配布していきたいと思っている。

▽友人にも渡したいから、もう一枚欲しいという方がいた。マップがコミュニケーションのきっかけに。

▽友人に場所を教えるのに地図を書こうと思っていたが、情報が分かりやすくまとまっていて助かった。

▽外出用と自宅用に2枚あれば、家族も安心できる。

▽東日本橋の地域は、サロン活動が少ないため、もう少し増えてほしい。

▽自分たちが普段参加している活動が載っていると嬉しい。

6. マップを活用したイベントについて 意見交換

前回まで「マップを活用したイベント」を検討していたが、マップ配布後の反応を踏まえて今後の方針について、意見交換を実施。

A案) マップに掲載している社会資源を動画で紹介していく。

B案) 日本橋浜町以外の地域でもマップを作成する。

C案) 新たにイベント企画して、「歩いてつながる 浜町エリアマップ」を紹介する。

・動画作成となると、各サロンなどに出向いて撮影し、編集作業をする必要が出てくる。

短い動画であれば手間は掛からないかも。

⇒高齢者の方々が Instagram や YouTube までに辿り着けるかと考えると難しい部分がある。

・東日本橋の地域はまだ把握ができていないだけでインフォーマルの社会資源があるかもしれない。

⇒日本橋浜町地域を調査した時もインフォーマルな社会資源は多くあったが、実際にマップに掲載するとなると、掲載許可などの面でハードルが高くなってしまう。

・完成したマップを活かして、まずはマップの存在を広く認識してもらうためにイベント開催してみてもは。

マップ紹介に繋がる何かしらのイベントを開催する方針で合意。

イベント企画案として、以下の3点を軸に今後、決めていく。

① 「歩いてつながる 浜町エリアマップ」を利用してもらう。

② 本協議体の取組みを知ってもらう。

③ 「はまる一む」を知ってもらう。

●イベント案

・ケアマネジャーに企画を案内し、高齢者を一人連れて来てもらう。

・スタンプラリー、ウォーキング(歩ける度合いに応じて、スタート地点を設ける)

例) 明治座→「はまる一む」、人形町駅→「はまる一む」を目指す等

コース終了後は実際に歩いた感想を参加者に聞いてみる。

・クイズを道中にいくつか設けて、チェックポイントを通過する

例) 中央区におとしより相談センターはいくつあるか等

・チェックポイントを通過したら、小笠原のハカラメをプレゼント

・イベント開催している様子を動画にして、HPにも掲載。

・イベントの開催は火曜であれば、はまる一むは元々、閉所日であるため、終日利用可。

7. 今後のスケジュール

▽次回協議体までに企画案を踏まえ、具体的なイベント内容を決定。

▽令和7年5~6月上旬のイベント開催を目指していく。

▽例年6月に第1回目の協議体を開催しているが、5月上旬に開催し、最終打ち合わせを行う。

次回協議体: :令和7年3月4日(火)16:30~18:00 多世代交流スペース「はまる一む」